

透析室

- 朝のプライミング(準備)風景③ -



画・内科医 上原 和博



<ご意見・ご要望>

6階病棟のみなさんへ
9日間の入院お世話になりました。

その間「嫌だな」と思った対応は一度もありませんでした。看護師さんの明るさ(声が大きい!)やさり気ない声かけが緊張感をほぐしてくれました。また、先生方(医師)は穏やかで(声が小さめ!)安心感を与えてもらい、微妙なバランスが面白いなと思いました。

窓からの景色に癒され安心してゆっくり過ごせました。
ご飯も美味しかった(特におかゆ!)
ありがとうございました。



新入職員歓迎セレモニー

新入職員セレモニーが4月7日に開催されました。

これまで、入職する全職種の職員をまとめて行っていましたが感染防止対策にともないセレモニーを2部に分けて行う異例の開催となり、辞令交付も各部の代表者1名のみ行いました。また、医療事務の池原海斗さん、看護師の当間希恵さんの2名の先輩からあいさつがありました。それに応える形で研修医の内間耕さん、看護師の久貝亮太さんの2名の新入職員の挨拶がありました。プログラム内容の変更や時間を短縮した上での進行の検討など、様々な面での対応に苦慮しましたが無事に終えることが出来ました。

(※2021年度入職者数は58人、内訳は右記の表のとおりです。)

総務課 安座間 太一

職種	入職数
医師	11
看護師	27
助産師	2
看護補助者	1
救急救命士	1
臨床検査技師	4
診療放射線技師	1
管理栄養士	2
理学療法士	1
作業療法士	2
臨床心理士	1
医療事務	3
一般事務	2
合計	58



ハルサー 金城 稲子

パパイヤはトマトと同じく連作障害(同一の畑で同じ種類の作物を作り続けるとその根を好む害虫や病原菌が増えて生育が悪くなる)が起こりやすく、特にパパイヤは別の作物を栽培しても三年は不作だと言われている。

パパイヤはトマトと同じく連作障害(同一の畑で同じ種類の作物を作り続けるとその根を好む害虫や病原菌が増えて生育が悪くなる)が起こりやすく、特にパパイヤは別の作物を栽培しても三年は不作だと言われている。

さて、コロナはインドで二重変異株(感染力が強く、ワクチンが効かない可能性がある株)が発見され、日本でも五件確認された。コロナの変異は目まぐるしい。コロナウイルスの変異株がF1であれば、再生するたびに先祖返りして感染能力も低下するのに…。

ハルサー
だより

パパイヤ

今まで毎年路地にパパイヤを植えてきたが、ことごとく台風にやられた。そこで今年はちょうどハウス内にスペースがあり、苗も知人から十本もらつたので去年の今時期に植えてみた。アドバイス通り、先を西に向けて三〇度ほど倒して植えたが、実が付くころには直立していた。苗はとても甘い品種を種から育てたものだ。F1(品種改良種)の実生なので期待はしてなかつたが、十本のうち八本は雄株だった。半年育てて花が咲いてからないと雄株か雌株かわからないのはショックが大きい。当然八本は切り倒す。そして定植から一年後、一株残つた実がオレンジ色に熟した。しかし、これも見掛け倒し。殆んど甘味がない。F1の種から栽培するのはほんとに冒険だと思い知らされる。かくして農家は種物屋に牛耳られることになるのである。パパイヤは雌株であれば野菜として利用できるのでまだいい。